

平成 28 年度山口大学 入学式

学長祝辞

岡 正朗

桜の花が咲き誇る春爛漫の本日、全国各地から、そして、海外から、2,035名の学部学生、562名の大学院生、合わせて2,597名の新入生の皆さんを山口大学に迎えることになりました。山口大学を代表して心より歓迎いたします。私も山口大学の卒業生であり、先輩として心からお祝いを述べたいと思います。また、保護者の皆様、さぞかしお喜びのことと存じます。これからは手元から離れ、自ら成長していく過程を見守り、エールを送っていただきたいと存じます。

山口大学は、9学部8研究科からなり、学部学生 約8,750名、大学院生 約1,500名、総学生数が1万人を超える堂々たる基幹総合大学です。山口市にある吉田キャンパスでは、全ての1年生が学び、人文、教育、経済、理学、農学、共同獣医、そして国際総合科学部の7学部があり、宇部市の常盤キャンパスには工学部、小串キャンパスには医学部があり、以上3キャンパスから成り立っています。3キャンパスを合計した広さは、東京ディズニーランドの2倍以上となります。

山口大学は1815年、長州藩士 上田鳳陽 先生によって創設された私塾「山口講堂」が源流であり、2015年、昨年には創基200周年を迎えました。日本で3番目に古い国立大学であり、この伝統を心にとどめ、誇りを胸に学生生活を送ってください。「山口講堂」の跡地は桜並木がきれいな「一の坂川」の入り口にあります。一の坂川交通交流広場には記念碑が設置されていますので、是非訪れて下さい。

今、世界は国ではなく地球規模で経済や人材が動いており、これがグローバル化です。さらに人工知能やIOTなどに代表されるイノベーション技術は第4次産業革命を引き起こしており、人類の生活自体が大きく変わる日は遠くないと言われています。このような時代に必要な力は何でしょうか。その身につけるべき力は、①幅広い教養 ②しっかりとした専門知識 ③英語を含めたコミュニケーション能力 ④多様性を容認する、柔軟な思考力 ⑤優しく強い心 なのです。この地山口は、新たな世界へのチャレンジ精神に満ちた独特の風土により、明治維新の原動となった地です。この精神は、山口大学の理念「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」に受け継がれ、教育・研究・社会貢献の3本の矢により地域の発展、日本そして世界の発展に寄与する大学として進化しています。この伝統のある山口大学生として誇りを持ち、各自がしっかりと勉学に励み、人間力を磨き、チャレンジ精神を持つことこそ、グローバル化に対応できる素地、力を養うことに繋がります。

学部学生の皆さんは、1年次には全学生が吉田キャンパスで学びます。他学部の友人を作る絶好のチャンスですので、積極的に交流してください。共通教育では幅広い教養を学ぶと共に、専門に関連する不得意な分野を解消しておくことが重要です。山口大学では1年生全員に知財教育科目を必修とし、知的創造を重要視していることが特徴と言えます。また、山口大学には多くのサークルがあります。課外活動では大学の講義・実習で学べない経験を積むことが出来ます。特に、耐えることの重要性、世代を超えた交流や友情の深化などが心身の成長に繋がり、社会人としての基盤を身につけることに結び付きます。世界はボーダレスになり、グローバル化の進捗中、本学では既に、グローバルマインドを身につけるための留学推進プログラムを実施し、昨年度は約300名が留学しました。

わが国の大きな問題点は、東京一極集中と地方の活力低下があげられます。政府は地方の人口減少の阻止と活性化を図る「地方創生」という政策を実施しています。大学はその中心となることが地域の自治体、企業、住民の皆様から強く求められています。山口大学では山口県の未来を担うリーダーを養成するカリキュラムを本年度より実施します。既に皆さんのところにはパンフレットが届いていると思いますが、地域の活性化に興味がある学生は是非、このカリキュラムを選択してください。

大学は無意味に日々を過ごす場ではありません。皆さんの能力を最大限に引き出すには、われわれ教職員の協力は必要ですが、君たち自身の志が最も重要です。4年後あるいは6年後の自分の姿を想像し、さらに高みを目指し、努力することを勧めます。本を読みましよう。文章を書きましよう。議論をしましよう。積極的に外に出ましよう。デジタルだけでなく、アナログも必要です。激動する現代、学長として、そして本学の先輩としてエールの言葉「ここで輝け！君が輝け！」を送り、学生自らの成長と活躍を心から期待し、歓迎とお祝いの挨拶といたします。

平成28年4月4日

山口大学長

岡 正朗